

令和2年度 学力向上に係る効果的な取組事例

「考える力をUPDATEする | CTの効果的な活用」 越谷市教育委員会・越谷市立大袋小学校

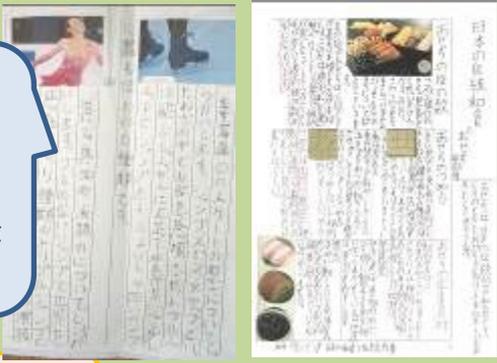
カメラ・動画の活用

手元を映すことによって、すべての児童が見やすく分かりやすい環境を作った。

1 タブレットのカメラ機能

操作が簡単で、誰でも使えるカメラ・動画機能を活用した授業を推進した。

国語の授業では、意見文や、パンフレットに載せる写真を撮影し、使用した。



【音楽】鍵盤ハーモニカの指導



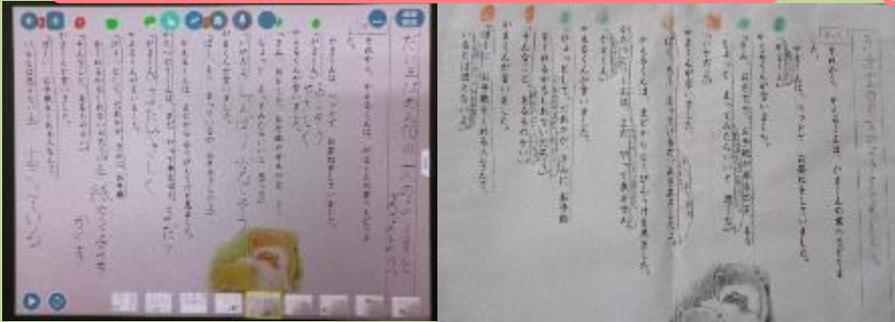
【総合】ゲストティーチャーの実演



【国語】音読劇の練習

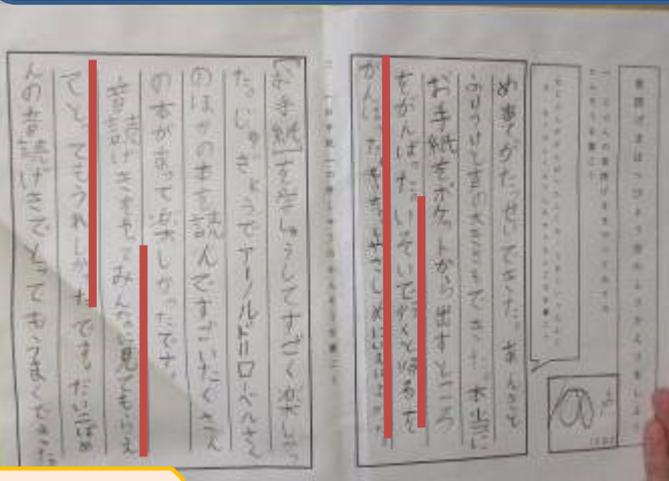
登場人物の様子や、音読の工夫をワークシートに書き込む。

音読しているところを撮影し、アドバイスする。



「お手紙」の音読劇では、友達同士で動画を撮り合い、アドバイスをした。録画したビデオを見ながら振り返り、練習を重ねることで、できるようになったことや、もっと頑張りたいことを自覚することができた。

単元を通しての振り返りをする。



単元の振り返り



板書（できるようになったことやもっとがんばりたいこと）

学習支援アプリの活用



2 思考ツールによる整理・分析

情報を分類したり関連付けたりして、考えを深めるために思考ツールを活用した。



【フィッシュボーン】

6年生の総合的な学習の時間では、「働くこと」について調べたことをプレゼン形式で発表した。【バタフライチャート】



【ウェビングマップ】



5年生の国語では、学校生活の課題を解決するための方法について話し合う場面で、座標軸を用いて整理した。



【Xチャート】

ICT活用のための情報共有

3 教員間でのICT活用研修

職員のICTへの苦手意識を減らし、多くの授業で活用できるよう校内研修を行った。

「デジタル教科書の使い方」の動画を作成した。活用の実際については、研究だよりで情報共有した。



研究だより



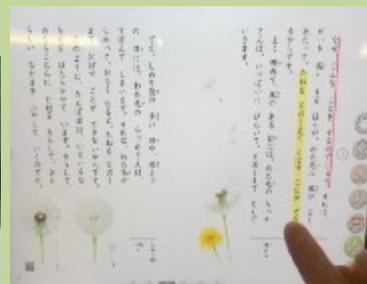
ICT研修



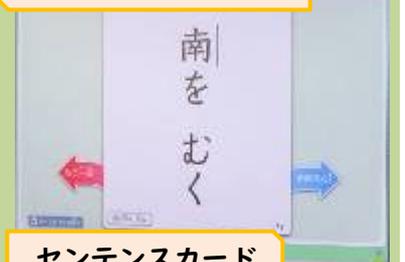
動画



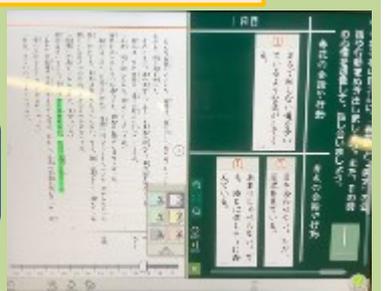
教科書読み上げ



漢字フラッシュカード



センテンスカード



学習支援アプリの研修を開催した。思考ツールを使った話し合い活動を体験したことによって、授業での活用イメージがわいた。

成果と課題

- 成果 ○教職員のICT活用への抵抗感が薄くなり、活用頻度が高まった。
○子供たちが、情報収集した後に情報を比較・分類したり、関連付けたりして整理することの大切さに気付いた。また、それを活用して、自らの考えをもつことができた。
- 課題 △活用する教科や使用方法に偏りがあり、各教科・各領域における活用方法を考えていくことが大切である。

